

令和2年5月27日
福島県土木部河川整備課

県管理治水ダムで洪水調節機能の強化（事前放流）を図ります。

1. 概要

二級河川鮫川水系の高柴ダム（いわき市）^{たかしぼ}・四時ダム（いわき市）^{しとき}において、台風等により大雨が予想される場合、事前放流を実施してダムの貯水位を低下させ、洪水調節のための容量を増量し、下流河川の氾濫や浸水被害の軽減を図ります。

事前放流は、利水容量の一部を事前に放流し、ダムの貯水位を下げて、洪水調節のための容量として活用するものです。

このたび、ダム管理者である福島県と利水者の福島県企業局及び、いわき市水道局の三者で治水協定を締結し、ダムの洪水調節機能強化（事前放流）の体制が整いました。

事前放流の実施にあたっては、各ダムの操作規則等で定められている、下流河川の急激な水位上昇が生じないように安全な放流量で行います。

2. 運用内容

①運用開始日

令和2年6月1日

②対象降雨量

気象庁の予測降雨量が、総雨量200mmを超えると予想される場合

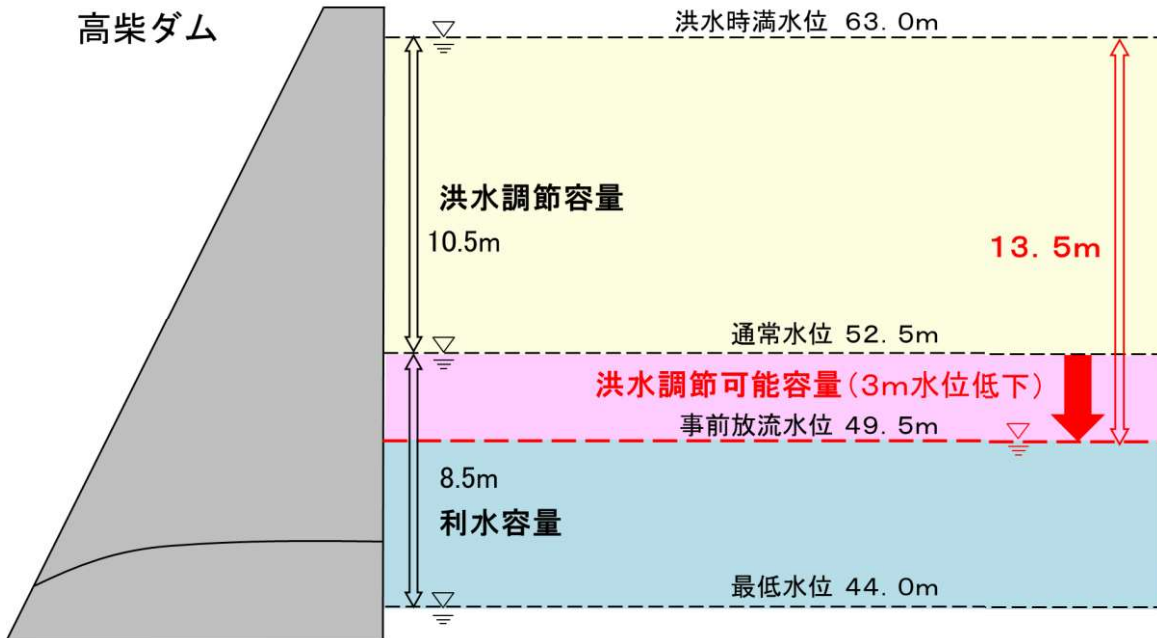
③洪水調節容量の増量

	貯水位低下量	現在	運用後
高柴ダム	通常より－3m	540万m ³	→ 663万m ³ （約1.2倍）
四時ダム	通常より－2m	640万m ³	→ 703万m ³ （約1.1倍）

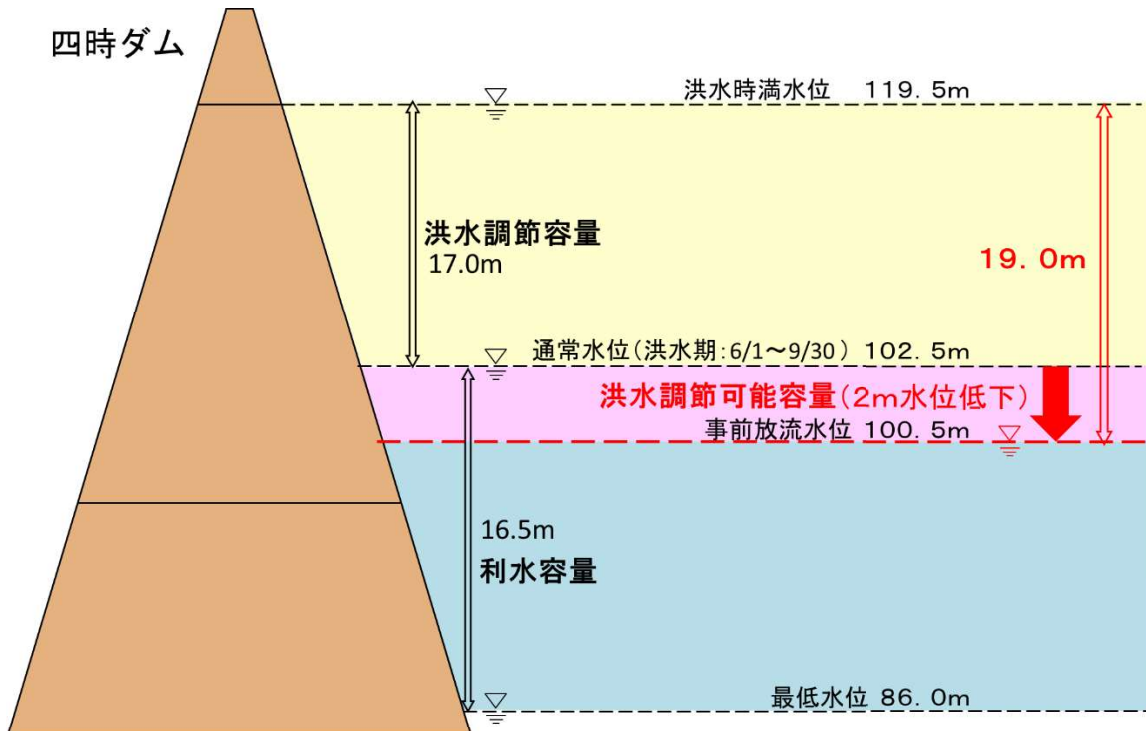
【問い合わせ先】

土木部河川整備課（担当者）主幹 高橋 正人

電話 024-521-7485 内線 3600 FAX024-521-7952



洪水調節容量：【 540万m³+123万m³=663万m³ (約1.2倍) 】



洪水調節容量：【 640万m³+約63万m³=703万m³ (約1.1倍) 】